

～健康づくり増進！～
四国中央市健康まつり

10/5 (土)



土居文化会館で、第10回四国中央市健康まつりが行われました。市民が健康に関心を持ち、健康づくりのきっかけになるよう開催されたものです。

会場では、健康度チェックや乳がん検診などのコーナーがあり、来場者はいろいろなコーナーを体験し、健康への意識を高めていました。

～迅速かつ的確に～
多数傷病者対応訓練

10/12(土)



四国中央自動車学校で、多数傷病者災害対応訓練がありました。県立看護専門学校の学生や市消防職員など約100人が参加し、大型観光バスを含む複数車両の事故により多数の傷病者が発生した想定で行われました。職員は、各指揮者の的確な指示で傷病者役の学生などに対して迅速に対応していました。

～秋祭りの安全運行のために～
三島秋祭り実行委員会が救命講習会

10/4 (金)



中之庄公民館で、三島秋祭り実行委員会による救命講習会が行われました。秋祭り時に、心臓突然死を未然に防止し救命率向上を図ろうと開催されたものです。各町の太鼓台から約30人が参加し、市消防職員から心肺蘇生やAED(自動体外式除細動器)の使い方などの説明を聞いて実践しました。

～市内から2人が出場！～
全国障害者スポーツ大会

10/4 (金)



全国障害者スポーツ大会への出場を報告するため、加地巧さんが市長を表敬訪問しました。10月12日(土)から開催された大会では、市内から高橋和也さんも県代表選手として出場し、加地さんがフライングディスク・アキュラシー、高橋さんが卓球でそれぞれ銀メダルを獲得しました。

～交通安全を祈願して～
小富士スポーツ少年団交通茶屋

9/28 (土)



JAうま仕出しセンター前で、小富士スポーツ少年団による交通茶屋が実施されました。今年は少し肌寒い風が吹く中、少年団のメンバーや保護者らを含めた約40人が参加し、ドライバーに安全運転を呼び掛けながら、手作りの交通安全祈願グッズを渡していました。

～消費者視点から考える開発～
四国中央市ビジネスセミナー

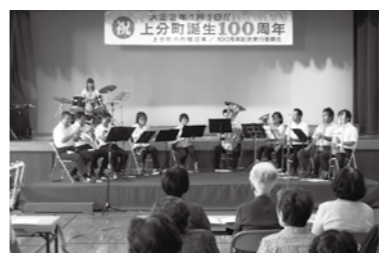
9/28 (土)



四国中央市ビジネスセミナーが開催され、企業の経営者や従業員などが受講しました。全3回シリーズの初回である今回は「消費者視点から考える商品開発」と題し、マーケティングの再認識、消費者や商品の分析・分類、商品開発の手法などを学び、演習では企画案を発表し合いました。

～上分町誕生100周年記念～
歴史探訪と音楽祭

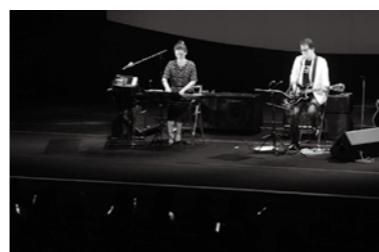
9/29 (日)



上分小学校体育館で、上分町誕生100周年記念行事「歴史探訪と音楽祭」が行われました。上分町が大正2年に誕生してからの100年という歴史を祝って行われたものです。来場者は、演奏を楽しんだり、写真展で上分町が物流と商店の集積地として栄えてきた歴史を振り返りました。

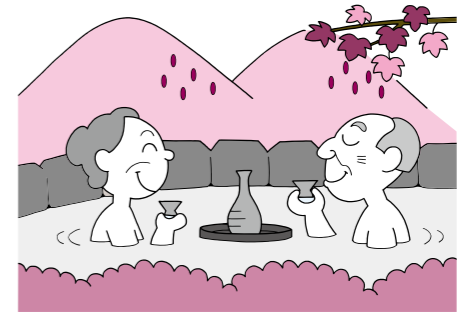
レーモンド松屋 in しこちゅー
メモリアルコンサート

9/29 (日)



土居文化会館ユーホールにて、「レーモンド松屋 in しこちゅーメモリアルコンサート」が行われました。会場には、約500人の観客が訪れ、レーモンド松屋さんの奏でる物悲しいメロディや、ブルースに乗せた渋い歌声に深く聴き入っていました。

まちの話題
TOWN TOPICS



元プロ野球選手 鈴木皖武さん
一日署長就任 & 交通茶屋

9/21 (土)



土居庁舎周辺で、元プロ野球選手の鈴木皖武さんによる一日署長就任と交通茶屋が行われました。四国中央警察署松岡署長から一日署長に任命された鈴木さんは、安全協会土居連合会員と一緒に、交通安全の願いを込めて啓発グッズなどをドライバーに手渡し、交通安全を呼び掛けました。

～DVが子供に及ぼす影響～
石田ヒサ子講演会

9/24 (火)



ホテルグランフォーレで、石田ヒサ子講演会～DVが子供に及ぼす影響～が開催されました。講演では、親のDVが子どもに与える影響について実際の被害を受けた手記を紹介しながら、日常に暴力が存在する子どものその性格への影響や、被害者支援の体制を確立する重要性を訴えました。

交通安全の意識を改めて
高齢者交通安全お達者大会

9/27 (金)



宇摩自動車教習所で高齢者交通安全お達者大会が開催されました。参加した川之江地区老人クラブ連合会の109人は、白バイの模範走行や自動車の急ブレーキ制動実験、ダミー人形の衝突実験などを体験しました。また、交通安全〇×クイズなどで楽しく学び、交通安全意識の高揚を図りました。

市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

テーマ
街頭

月曜日の朝、街頭に立っていると、いろんなことがわかる。
かつて、いつも通っている同級生がぱったりと見えなくなった。会った時に「このごろどうしたん？」と聞くと、「もう定年よ！」という返事が返ってきた。ああ自分たちもそういう年齢になったんだと思い知らされた。
中学生だった娘さんを、見かけなくなった。すでに高校も卒業して、大学生が社会人になっているのだろう。高校の制服姿になった頃、えらい大人っぽく見えたのを覚えている。
今、いつも自転車から、ニコッと笑って手を振ってくれる女学生がいる。ある雨の日、今日は自転車は無理だろうなと思っていたら、お母さんの運転している車の中から、一生懸命に手を振ってくれていた。なんか嬉しくなって、「俺も頑張るぞー！」と思ったものである(現在も進行形である)。
「もう市長さんになったんじゃけん、止めてもいいんじゃないの！」なんて、やさしく言ってくれる人もいるが、自分の一つの人間としての鍛錬だと思ってるし、しんどい思いをすーっとしているわけでもない。
通りすがりの一瞬、心が触れ合つと、どんな寒い日であっても、ハートは温かくなるのである。これもやってみなければわからない心境であると思う。1時間ちよっとの間ではあるが、短編小説を読んでいるようなワクワク感もある。
あの人が通ったから、今日はおしまいと思って、家に帰る。帰り道3人連れの男子高校生に、「おはようさん！」と声をかけると、「おはようございます」と照れたような返事がいつも返ってくる。名前も住んでいるところも、自分は、ほとんど人を知らない。でも、決して一期一会ではないと自分は思っている。